大野城市
議会だより

2026 令和8年
No.175
発行 大野城市議会
編集 広報委員会
令和8年11月15日

9
9月定例会

大野城市議会ホームページ



決算

私たちの税金は、まちづくりにどう生かされたか？

主な記事

- 決算特集 …… P2～3
- ９月定例会 …… P4
- 委員会レポート …… P5～6
- 一般質問 …… P7～13
- ８月臨時会 …… P14
- 特別委員会（給食） …… P15
- 模擬議会 …… P16～17

決算定例会大審査

決算をチェックすることで、市に1年間でどれだけお金が入ってきて、そのお金をどのような事業に使ったかがわかります。

歳入（一般会計）525億1139万円
歳出（一般会計）512億9910万円

備蓄品整備事業



3億5461万円
当初予算 4億1468万円

小中学校給食無償化事業



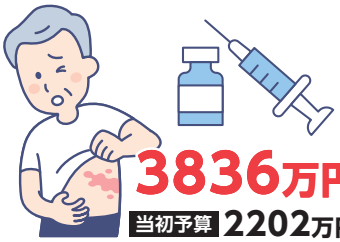
4億7639万円
当初予算 4億9410万円

高齢者予防接種事業



9214万円
当初予算 2億5350万円

帯状疱疹予防接種事業



3836万円
当初予算 2202万円

風しん予防接種事業



104万円
当初予算 136万円

大野城総合公園キャンプ場整備事業



5億2740万円
当初予算 5億2790万円

子ども医療費助成事業



6億439万円
当初予算 6億3188万円

シティプロモーション推進事業



1735万円
当初予算 2238万円

シビックゾーン整備事業



8億3591万円
当初予算 8億9266万円

連続立体交差事業



5億1011万円
当初予算 15億8829万円

表示金額は千円以下を四捨五入しています

令和7年度全会計の決算を審査

決算特別委員会

9月定例会では、10人で構成する決算特別委員会を設置し、3日間で一般会計及び特別会計の計5件を認定、公営企業会計2件を可決及び認定（以下、複数案件から抜粋）

認定第1号 令和7年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について

問 市債残高の推移は

答 令和6年度、7年度と2年続けて増加している。連立高架下整備事業をはじめとした中心市街地地区整備事業など土木系事業が多くなったことで、土木債の残高が大きく増加している。さらに、危機管理センターの建設、小中学校やコミュニティセンターの体育館の空調整備、そらもりキャンプ場のリニューアルなどの投資的経費が増加していることが、市債残高が増えている要因になっている。

問 本市の特殊詐欺被害の状況は

答 本市単独の数値は公表されていない。春日署管内では、令和7年中の特殊詐欺の被害件数は77件で、被害額が2億5000万円となっている。また、SNS投資詐欺、ロマンス詐欺の被害件数が73件、被害額が7億1100万円となっている。

問 中学校ランチ給食配送料が前年度から倍増した理由は

答 以前の食数が1000食程度であったのに対し、昨年度の平均が1600食程度に増加したこと。また、令和7年度の2学期から給食の無償化を実施したことに起因するものだと考えられる。現在は2000食を超える食数に増加。



問 JR水城駅のバリアフリー化とは

答 既存の駅舎の改修では、乗降客への影響と敷地に様々な制約があるため、現駅舎を博多側に100メートルほど動かし、思水園踏切のわきに上りと下りの改札をそれぞれ設置し、駅舎を建て替えてバリアフリーを整備する予定となっている。



認定第2号 令和7年度大野城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 令和7年度末の基金残高が4500万を超えているとのことだが、今後、国保税率を上げる予定は

答 国が都道府県単位で国民健康保険税率を統一化するように推進しており、福岡県は令和15年度を目標に検討を進めている。本市もそれに近づくように税率を調整している。現在の税率は、県が示す標準税率を参酌して決めているため大きな乖離はないが、県の標準税率と大きく乖離する場合は、税率を調整し、市民に急激な負担をかけないよう考えている。また、基金については、基金残高が過大にならないように調整する。

認定第7号 令和7年度大野城市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

問 汚水管の老朽化の状況は

答 令和7年の点検では異常は発見されていない。管路のカメラ調査にて異常が見つかった場合は、既存の管の中に新たな管を作る管更生など、異常箇所の修繕を順次行っている。

委員会から、以下の3点を執行部に申し出た

①審査資料に誤りがないよう十分注意し、緊張感をもって作成すること
②災害時のマイナンバーカードの利活用に関し、主となる部署を確定し、危機管理センターの開設時には、ハード面とソフト面を充実させること
③鳥獣被害対策の広域連携と予算の増額を検討すること

9月定例会

令和8年9月定例会を9月1日（火）から9月25日（金）まで開催
33の案件を審議し、全ての案件を可決、同意、承認しました。
審議結果の採決の模様は大野城市議会ホームページ「令和８年第５回９月定例会」（右の二次元コード）から映像を見ることができます。

太字の議案は委員会レポートに内容を掲載しています。

審議結果一覧

令和８年９月定例会

議案番号	件　名	議決結果	付託委員会	議決月日
第60号議案	大野城市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	総務政策委員会	R8.9.25
第61号議案	大野城市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	R8.9.25
第62号議案	大野城市議会議員及び大野城市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数可決（賛成17・反対1）	〃	R8.9.25
第63号議案	大野城市法令遵守等の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	〃	R8.9.25
第64号議案	大野城市税条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	R8.9.25
第65号議案	工事請負契約の締結について（26中川久保線（I工区）道路法面工事（3期））	〃	都市経済委員会	R8.9.25
第66号議案	財産の取得について（ノートパソコン）	〃	総務政策委員会	R8.9.25
第67号議案	令和8年度大野城市一般会計補正予算（第4号）について	〃	予算委員会	R8.9.25
第68号議案	令和8年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	R8.9.25
第69号議案	令和8年度大野城市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	R8.9.25
第70号議案	令和8年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	〃	〃	R8.9.25
第71号議案	令和8年度大野城市水道事業会計補正予算（第1号）について	〃	〃	R8.9.25
第72号議案	令和8年度大野城市下水道事業会計補正予算（第1号）について	〃	〃	R8.9.25
認定第１号	令和7年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致認定	決算特別委員会	R8.9.25
認定第２号	令和7年度大野城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	R8.9.25
認定第３号	令和7年度大野城市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	R8.9.25
認定第４号	令和7年度大野城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	R8.9.25
認定第５号	令和7年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	R8.9.25
認定第６号	令和7年度大野城市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	全会一致可決及び認定	〃	R8.9.25
認定第７号	令和7年度大野城市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃	〃	R8.9.25
報告第10号	令和7年度大野城市健全化判断比率について	報告	—	R8.9.4
報告第11号	令和7年度大野城市水道事業会計資金不足比率について	〃	—	R8.9.4
報告第12号	令和7年度大野城市下水道事業会計資金不足比率について	〃	—	R8.9.4
報告第13号	令和7年度大野城市土地開発公社の決算について	〃	—	R8.9.4
報告第14号	令和7年度公益財団法人大野城まどかぴあの決算について	〃	—	R8.9.4
報告第15号	令和7年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の決算について	〃	—	R8.9.4
報告第16号	令和7年度公益財団法人大野城市スポーツ協会の決算について	〃	—	R8.9.4
諮問第１号	人権擁護委員の候補者の推薦について	全会一致同意	—	R8.9.4
諮問第２号	人権擁護委員の候補者の推薦について	〃	—	R8.9.4
諮問第３号	人権擁護委員の候補者の推薦について	〃	—	R8.9.4
諮問第４号	人権擁護委員の候補者の推薦について	〃	—	R8.9.4
意見書案第３号	非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	賛成多数可決（賛成17・反対1）	—	R8.9.25
決議案第１号	福岡県政及び福岡県議会に対する信頼回復を求める決議	全会一致可決	—	R8.9.25
	議員の派遣について	承認	—	R8.9.25

賛否の分かれた議案

令和８年第５回９月定例会　審議結果

会派名	自民大野城					公明党				未来フォーラム			市民クラブ		自民まどか		自民御笠			
議員氏名	山上 高昭	平井 信太郎	平田 不二香	岡部 かおり	原田 真光	大塚 みどり	井上 正則	河村 康之	神田 徳良	松﨑 百合子	永利 恭子	河野 敏生	松﨑 正和	福澤 信光	森 和也	井福 大昌	関井 利夫	中村 真一	中村 慎一朗	松田 美由紀
第62号議案	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○
意見書案第３号	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○

（○：賛成、●：反対、欠：欠席、－：議長は表決に加わらないため）

9月定例会 委員会レポート

公益通報制度を利用しやすい環境へ　総務政策委員会

第63号議案 大野城市法令遵守等の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について

公益通報者保護法において、事業者による禁止行為に関する規定を新たに設ける改正がなされたことに準じて本条例の改正を行うもの
※公益通報とは…労働者が事業者の不正行為や法令違反を内部の所定の通報先へ知らせること

問 公益通報を行うにあたって実名で行わないといけないのか
答 原則として実名による通報となっているが、必ずしも匿名の通報を妨げるものではない。

問 法令遵守等推進審査会の構成は
答 現在、弁護士、元警察官、元市職員の3名で構成されている。

問 公益通報がしやすい環境をどのように整えていくのか
答 定期的に庁内の電子掲示板等で制度の紹介、周知を行っていく。

問 公益通報をした場合、その後の調査はどのようになされるのか
答 法令遵守等推進審査会で受付後、調査等を行う。必要に応じて、市の職員で構成する法令遵守推進委員会において、審査会と調査等の協力を仰ぎながら連携をとって行う。

第66号議案 財産の取得について

市職員が業務で使用する事務用パソコン105台を購入するもの

問 パソコンの更新頻度はどうなっているのか
答 7年ごとの更新を基本としているが、故障等の機器も入れ替えている。

問 パソコンの廃棄はどのように行っているのか
答 市の指示の元、委託先で粉砕等の処分を行っている。

中・川久保線3期目の工事請負契約　都市経済委員会

第65号議案 工事請負契約の締結について

都市計画道路「中・川久保線」（国道3号線御笠川4丁目から市道乙金山田線の中変電所前交差点まで全長1320メートル）の道路築造に係る工事請負契約3期目の締結に当たり、議会の承認を求めるもの。契約方法は一般競争入札で、契約金額2億339万円、仮契約の相手方は、2社の業者による特定建設工事共同企業体。工期は令和8年9月26日から令和9年3月26日までを予定している。

問 特定建設工事共同企業体とは
答 工事をするために複数の業者が共同出資して、チームを組むこと。

問 中変電所前交差点から御陵中まで（I工区）の供用開始時期は
答 車道歩道共に令和9年度末の供用開始を目標に整備を進めている。

問 今回の工事の内容は
答 今回の工事は法面を下げて擁壁を作るもの。道路築造（アスファルト舗装等、歩道を整備する工事）は別途発注を予定している。


中・川久保線法面工事の状況

9月定例会 委員会レポート

小中学校樹木伐採費などを追加　予算委員会

第67号議案
令和8年度大野城市一般会計補正予算(第4号)について

県内小学校での倒木事故を踏まえた市内全小中学校の安全点検結果に基づく樹木伐採費のほか、他事業合計約10億6千万円を追加するもの

問 安全点検の対象樹木数と対応が必要になった樹木数は

答 小学校で1608本、中学校で836本の樹木の安全点検を実施した結果、伐採すべき樹木が60本(小学校34本、中学校26本)、枝の撤去等が必要である樹木が27本(小学校16本、中学校11本)であることが判明。このうち、早急に伐採すべき樹木が60本中12本(小学校6本、中学校6本)あったことから既に伐採している。

今後、伐採すべき残りの48本の樹木の伐採や、27本の枝の撤去を実施していく。

問 対応が必要な樹木がある学校に偏りはなかったか

答 全15校それぞれにあったが、すぐに伐採すべきであった12本の樹木の内訳は大野南小学校6本、大野中学校6本である。

問 学校における樹木の役割と今後新たに植樹する予定は

答 授業や環境との関わり、学校のシンボル、季節を感じるためなどの目的があるが、今回の伐採後、新たに植樹する予定はない。今後、安全管理の問題等も考慮したうえで、学校と協議をしながら、必要な場所に植樹を検討する。



安全点検で確認された枯損木

次回開催予定　令和8年12月定例会（予定）

12月
1日(火) 10:00～ 本会議　提案理由説明
4日(金) 10:00～ 本会議　質疑・付託
7日(月) 10:00～ 総務政策委員会
13:30～ 福祉教育委員会
8日(火) 10:00～ 都市経済委員会
9日(水) 9:00～ 予算委員会
14日(月)～15日(火) 9:30～ 本会議　一般質問
18日(金) 10:00～ 本会議　報告・討論・採決

議会の動き

7月
31日 議会運営委員会

8月
4日 福祉教育委員会　所管事務調査
7日 臨時会
予算委員会
今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会
17日 福岡都市圏議長会(福岡市)
18日 会派代表者会議
25日 議会運営委員会

9月
1日 本会議(1日目)
全員協議会
4日 本会議(2日目)
会派代表者会議
今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会
7日 総務政策委員会
8日 都市経済委員会
9日 予算委員会
10日～14日 決算特別委員会
14日 今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会
16日 本会議(3日目)
17日 本会議(4日目)
会派代表者会議
25日 議会運営委員会
本会議(5日目)
全員協議会
今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会

10月
5日～6日 福岡県中部十一市議会議長会正副議長・局長研修会(萩市・防府市)
15日 今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会
16日 都市経済委員会　所管事務調査
福岡県南市議会議長会(大牟田市)
20日 議会報告会
21日 総務政策委員会　所管事務調査
23日 福岡県市議会議長会(飯塚市)

視察来庁

- **部活動の地域展開における持続可能な運営体制の構築について**
(8月7日　兵庫県明石市)
- **あんしんまどか(高齢者ICT見守り)事業について**
(10月9日　愛知県刈谷市)
- **しあわせ電子図書館について**
(10月22日　東京都調布市)
- **ゼロカーボンシティ実現に向けたEV(電気自動車)活用施策について**
(10月27日　愛知県東海市)

～これからの大野城を問う～ 一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。

各議員のタイトルにある二次元コードから映像を見ることができます。

氏　名	件　名
平田　不二香	★健康寿命の延伸に向けた歯科口腔保健の充実について
森　和也	★高齢者支援事業について
岡部　かおり	★セカンドブック事業の導入について
中村　真一	★子どもたちの泳力向上及び安心安全な水泳授業と今後の展開について
山上　高昭	★情報公開について ・市長の発言について
河村　康之	★本市が取り組む人権等に対する理解促進の啓発活動について ・全ての住民が安心して暮らしていける歩道や道路の整備について ・市民と職員のために活用する庁用車の利用について
河野　敏生	★通級指導教室について ・子どもの人権感覚の涵養について ・議会と行政との関係の適正性について
大塚　みどり	・高齢者の感染予防について ★サステナブルファッションの推進について
永利　恭子	★職員がやりがいをもって働き続けられる職場づくりについて ・市民に開かれた明るいまちづくりについて
原田　真光	・大野城市総合体育館について ★公共交通施策について ・ユープレについて
中村　慎一朗	・防災訓練について ★校区における子ども達の安全について
井福　大昌	★市内の犯罪防止のため ・市を支えてくれる健全な青少年の育成の取組
松﨑　百合子	★日本語学習指導支援事業と多文化共生について ・地球温暖化・気候危機の緩和・防止に向けた街路樹等樹木の育成について ・非核平和へのメッセージ発信について

◀映像はこちら

健康寿命を支える口腔ケアを！

平田（ひらた）　不二香（ふじか）



問 本市の子どもの虫歯の発生状況等は県平均より良い一方、未治療の子どももいる。歯科検診で要治療となった児童生徒が実際に治療に繋がったかを把握しているか。また、繰り返し未治療の子どもがいる場合、福祉や保健につなぐ仕組みが必要では

答 保護者へ個別に治療勧奨は行っているが、その後の治療状況は把握していない。健康状態に配慮が必要な場合は、福祉保健部門と連携し対応している。

問 高齢者の口腔機能低下の早期発見と予防のため、通いの場などでのオーラルフレイルチェックや市民調査を行う考えは

答 高齢者が参加する事業でのオーラルフレイルチェックの実施を検討する。また、令和11年度の健康・食育プラン中間見直しのアンケートで、市民の実態を把握できる質問項目の設定を検討する。

問 自分で口腔ケアが難しい方や介護する家族を支援する「吸引器付き歯ブラシ」の情報提供や購入費助成を検討できないか

答 ケアマネージャーの連絡会などで情報共有を進める。また、購入費助成については、利用者の必要性や他自治体の状況を調査・検討する。

問 災害時の口腔衛生の悪化は、誤嚥性肺炎など、命に関わる健康被害につながる可能性がある。口腔ケア用品の家庭備蓄について市民に啓発する考えは

答 総合防災マップやホームページ、出前講座等で、歯ブラシ等を非常用持ち出し袋に入れるなど、家庭で備える必要性について啓発する。



吸引器付歯ブラシ（イメージ図）

身寄りのない高齢者、地域共生社会の実現！

◀映像はこちら

森　和也（もり　かずや）



問 独り暮らしの高齢者の人数の推移はどのようになっているか

答 平成12年度は1428人、令和7年度は7083人と、約25年間で約5倍の増加となっている。

問 仮称「大野城市身寄りなし高齢者等支援協議会」を設置することを提言するが、身寄りがなくても住み慣れた大野城市で安心して暮らし、最期まで自分らしく生きることができる地域をつくるという理念の下、設置に向け、まずは関係機関との協議・検討を開始する考えはないか。また、大野城市が目指す大野城市身寄りのない高齢者支援モデルについて、堤市長の考えは

答 身寄りのない高齢者への支援に当たり、関係機関等とのネットワーク構築や連携強化が重要であると認識している。既存の会議体の充実を図り、関係機関等との連携強化に努め、適切な支援につなげていく。また、大野城市が目指す身寄りのない高齢者支援モデルについては、身寄りのない高齢者が抱える不安や課題に対応していくため、日常生活から入院や施設入所、死後事務に至るまで包括的な支援の充実が求められている。そのため、国の動向や先進自治体の取組を参考にしながら、持続可能で切れ目のない終活支援体制を整備し、本市の高齢者が安心して自分らしく暮らせる地域づくりを進めていく。



9月から配布されているエンディングノート

子どもたちに絵本のプレゼントを！

◀映像はこちら

岡部　かおり（おかべ）



問 ブックスタートとは、全ての赤ちゃんに、温かい絵本のひとときや絵本を開く楽しい体験と絵本をセットでプレゼントする活動である。本市が実施しているブックスタート事業の現状と、これまでの事業の成果は

答 親子が楽しく触れ合う時間を持つことを目的とし、市内在住の4か月から1歳3か月までの赤ちゃんとその保護者が対象となる。
読み聞かせボランティアが絵本4冊の読み聞かせをし、その中から2冊の絵本を選んでもらい、オリジナルエコバッグと一緒にプレゼントしている。ブックスタート事業に参加した方の98％が「受け取った本を活用した」、93％が「絵本に興味を持った」と回答しており、読み聞かせを通じた親子のコミュニケーションの促進につながっている。

問 3歳児等の幼児とその保護者を対象としたセカンドブック事業の導入による、切れ目のない読書・子育て支援体制の構築について、市長の見解は

答 大野城市民読書活動推進計画を策定しており、全ての市民が生涯にわたって読書に親しみ、読書を通じた学びや人と人との交流により、豊かな心が育まれるまちを目指している。
本に出会う機会を提供し、読書習慣の定着につながる取組を充実させるためには、幼少期からの習慣づけ、環境やきっかけづくりが重要であり、セカンドブック事業は有効な取組の一つであると考えている。



※写真は過去配布絵本の一例です。
時期によって配布絵本は変わります。
大野城市ホームページより引用

安全安心な水泳授業を目指して

◀映像はこちら



中村　真一（なかむら　しんいち）

問　民間事業者による専門的な指導によって児童の泳力は向上しているのか

答　児童へのアンケート結果では、「水泳授業で上手になったことや、新しく出来るようになったことがある」と回答した児童は88.2%であった。また、教員へのアンケート結果では、「民間プールでの水泳授業により、児童の泳力が向上したと感じる」と回答した教員は100%であり、民間委託による水泳授業は児童の泳力向上に寄与していると考える。

問　民間委託になって、児童の水への恐怖心は軽減されているのか

答　水深を浅く調整するための台をプールの底に設置し、足が届く水深にしているほか、低学年の児童には、両腕に着用する浮き輪を使用するなど、水への恐怖心の軽減を図っている。

問　児童の水泳授業への意欲は高まっているのか

答　児童へのアンケート結果では「これまでよりも水泳授業が好きになった」と回答した児童が74.3%で、「これからも民間施設で授業を受けたい」と回答した児童が92.5%であり、児童の水泳授業への意欲は高まっていると考える。

問　水泳授業時の事業者と学校側の役割分担はどのようになっているか

答　事業者は、インストラクターによる水泳の指導と監視員によるプールサイドからの安全確認を担っている。学校側は、教職員によるプールサイドからの安全確認と児童の泳力の評価を担っている。



水泳授業の様子

答えること、答えないこと

◀映像はこちら



山上　高昭（やまがみ　たかあき）

問　大野城まどかぴあの使用許可書について、昨年11月には大野城市は当該文書を保有していないことを理由として、不開示決定となった。一方、今年7月には、部分開示決定がなされた。この取扱いが変わった理由と、その間の経緯は

答　令和7年12月定例会において、大野城まどかぴあの指定管理者である公益財団法人大野城まどかぴあの文書に対する公文書開示請求について、本市がその文書を保有していないことから、不開示の決定を行ったことを回答した。その際、指定管理者に対する本市の管理義務についてご指摘を受けている。

市としては、改めて情報開示の透明性について検討を行い、令和8年度からの大野城まどかぴあの管理運営に関する基本協定書において、指定管理者の文書であっても大野城市情報公開条例に基づき、施設の管理運営業務について開示請求があったときは、指定管理者は当該情報を本市に提供することを追加した。

今後も必要な改善を怠らず、指定管理者に対する管理責任を果たしていきたい。



大野城まどかぴあ

◀映像はこちら

市庁舎等のブルーライトアップで啓発活動を

河村　康之（かわむら　やすゆき）



問 誰もが自分らしく輝ける社会を目指し、お互いの違いを尊重し、物理的な障壁や心の壁を飛び越えることができ、非常に価値のある重要な啓発活動の取組について、堤市長の率直な感想は

答 国内外で行われている様々な人権啓発や、疾病や障がいに関する理解促進のための取組は、全ての人の尊厳と権利が守られる社会の実現のために大変意義深い。本市でも市民の人権意識の高揚に努め、基本的人権が尊重される差別等のない明るいまちづくりを進め、安心して暮らせる平等な社会の実現に向け、様々な取組を推進する。

問 新型コロナウイルス感染症に関わった医療従事者に、感謝の気持ちとして国内外各地でブルーライトアップが行われた。また、ブルーライトアップは特定の病気や社会問題に対する啓発の目的で行われている。本市も様々な障がいや人権などの理解促進の啓発活動として、「大文字まつり」や「まどかフェスティバル」など、イベント期間中に市庁舎やふるさと館などの建物をブルーライトアップしてはどうか

答 建物のライトアップは市民に対して視覚的に訴える啓発活動の有効な手段の一つと認識している。実施に当たっては、安全面や費用面などの課題があるため、他自治体におけるライトアップの実施状況や効果、安全対策費用などについて調査研究を行い、視覚的に訴える効果的な他の啓発方法も含めて検討したい。



「手話言語の日」のブルーライトアップの様子

◀映像はこちら

必要とする子どもが通級指導を受けるために

河野　敏生（かわの　としお）



問 通級指導教室（ことばの教室）とはどのような場所か

答 特別支援学級の児童生徒よりも障がいの程度が軽度な児童生徒が学ぶ場所。
各教科等の指導の大部分は通常の学級で行いつつ、週に数時間だけ通級指導教室で個別に指導を受ける。

問 通級指導教室はどこに設置されているか

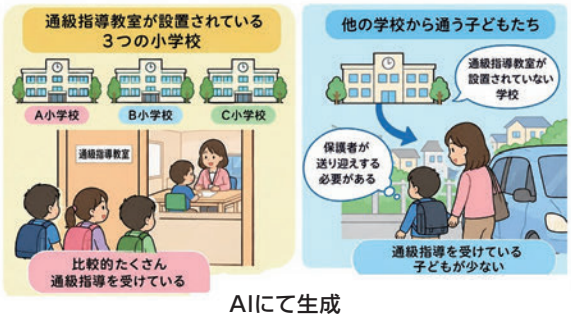
答 小学校は大野北小学校、下大利小学校、月の浦小学校の3校に設置。また、中学校の通級指導教室は青少年の居場所ユープレに設置している。

問 通級指導教室が設置されている小学校3校の児童は比較的たくさん通級指導を受けているが、他校から来る児童は保護者が送り迎えする必要があるから、通級指導を受けている児童が少ないと聞くが、事実か

答 自校で通級指導を受けている小学校3校では、各学校の全児童に対する対象児童の割合は3校平均で4.49％である。一方、他校で通級指導を受けている小学校7校では、7校平均で1.22％となっている。

問 4.49％と1.22％、格差は実に4倍である。春日市では、必要とする児童生徒が在籍校で通級指導を受けられる仕組みをつくっている。本市でも、在籍校で通級指導を受けられる体制を検討できないか

答 通級指導の体制については、保護者の送迎負担だけでなく、自校通級に必要となる施設整備や各指導者が担当する児童生徒数、指導者間の連携なども含め、総合的に考える必要がある。



AIにて生成

リユースで子育て応援！サステナブルな街へ

◀映像はこちら

大塚（おおつか）　みどり



問 国が2030年度までに家庭の衣類廃棄量25%削減目標を掲げる中、衣類の生産・廃棄がもたらす深刻な環境負荷への認識は

答 生産から廃棄までに温室効果ガスの排出、水資源の消費、マイクロプラスチックの海洋流出など様々な環境負荷をもたらすと認識。持続可能な社会に向け、サステナブルファッションの推進が必要と考える。

問 衣類回収の現状と推進のための課題は

答 現在、衣類の回収は団体による集団回収や民間店舗の回収拠点で実施。「誰もが気軽に衣類を出せる環境整備」が課題であり、今後は回収拠点の拡充や周知啓発、リユースの取組について検討する。

問 市内で子ども服等を無料譲渡する取組を実施しているか

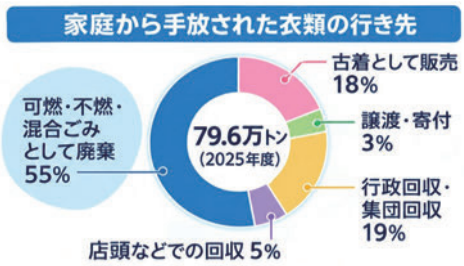
答 「親子サロン」に「おゆずりコーナー」を常設し、持ち込まれたベビー服やおもちゃ等を希望者に無料で提供している。

問 家計支援とごみ減量の両立を目的に、心のふるさと館に子ども服等の「おさがりコーナー」を常設してはどうか

答 乳幼児衣類に限らず、制服や学用品等のリユースの取組を検討する。心のふるさと館への設置は施設機能との調整や保管方法等の整理が必要なため、他施設での実施可否も含めて具体的に検討する。

問 持続可能な運営のため、実務をNPOや地域団体との委託や協働で進める考えは

答 地域とつながりのあるNPO等との連携は有効と考える。役割分担を整理し、委託や協働など官民連携した運営方法を具体的に検討する。



公明新聞記事より

職員が働き続けられる職場づくり

◀映像はこちら

永利（ながとし）　恭子（きょうこ）



問 時間外勤務を減らすための取組は

答 毎月、庁内電子掲示板で実績を職員に周知している。また、所属長には、業務配分や協力体制により組織全体で削減に努めるよう啓発している。

問 勤務間インターバルはどうなっているか

答 令和7年度に21時30分を超える時間外勤務の件数は1618件で、前年度と比較して449件、約21.7%となっており、勤務間インターバルの対象数は減少している。

問 職員の病気休暇、休職者の状況は

答 令和8年8月末時点の病気休暇9名、休職者11名、計20名で、病気休暇取得者及び休職者数は、令和5年度をピークに減少傾向である。これは新たにメンタル不調となる職員の減少が要因である。

問 ストレスチェックの結果を活用できないか

答 部課長に部署ごとの分析結果をフィードバックし、ストレス要因や傾向を把握・分析することで、必要な職場環境の改善に取り組んでいる。今年度は、高ストレス環境にあると判定される部署数が75%減少しており、顕著な改善が見られる。

問 市長と職員とのコミュニケーションは図られているか

答 市長は職員を一緒に働くパートナーと考え、共感と信頼、対話を重視した組織運営を進めている。職員と、仕事に限らず幅広い話題について懇談する市長ミーティングを実施。令和7年度は課長級職員、今年度は新規採用職員をはじめ係長級以下の全職員を対象に順次実施しており、今後も風通しのよい組織づくりを進めていく。



映像はこちら

持続可能な公共交通体系の構築へ

原田（はらだ）　真光（まさみつ）



問 令和7年3月定例会一般質問で提案した西鉄バス路線改善案（下大利駅東口からJR大野城駅への延伸、つつじケ丘区からの短縮ルート、日の浦池線新ルート）の進捗状況は

答 提案の3案については西鉄との協議を開始しており、今後も利便性向上と実現に向け協議を重ねていく。

問 つつじケ丘区が主導し実施した住民アンケートの結果を踏まえ、南地区から本市に提出された提言書の概要及び対応状況は

答 提言書は令和8年8月20日に受領した。西鉄へはJR大野城駅乗り入れ早期実現や通勤通学帯の速達便導入、鉄道と連携したダイヤ編成の3点、市へは南地区へのコミュニティ交通導入や道路渋滞対策の2点、計5点であり、西鉄等の関係者と共有し協議を行っている。

問 南地区から提案された提言書を受け、本市の南地区における公共交通の在り方に関する市の見解は

答 南地区は高齢化率が高く、坂道も多く、交通空白地域が点在していることなど、公共交通の改善が必要と認識している。提言にあるJR大野城駅乗り入れは市地域公共交通計画にも掲げ西鉄と協議を進めている。さらに買物や通院等を支える新たな交通手段として、令和9年度にデマンド型交通を導入し、南地区における公共交通の強化を図る。



令和8年5月策定
「大野城市地域公共交通計画」

映像はこちら

地域の危険を共有し、子どもの命を守ろう

中村（なかむら）　慎一朗（しんいちろう）



問 「7さいめせん」を踏まえた通学路の安全対策は

答 植栽については、視認性が良くなるよう剪定をし、路側帯にはグリーンベルト、交差点には車両用防護柵を設置している。

問 校区を越えた危険箇所の情報共有は

答 過去3年間の通学路合同安全点検の実施箇所や改善状況を学校間で共有している。また、学校、道路管理者、警察、生活安全課、教育委員会などで実施する大野城市通学路安全推進会議の場で、前年度の通学路合同安全点検に対する対応状況の報告を受け、改善状況を共有している。

問 通学路合同安全点検の実施状況を保護者連絡アプリ「tetoru（テトル）」で配信できないか

答 保護者へ広く周知するため、「tetoru（テトル）」を活用した周知方法も検討する。

問 河川の危険を伝える看板を増設できないか

答 河川管理者である福岡県と連携し、適切に対応していく。

問 子ども自身が水辺の危険を具体的に認識できる教育を充実できないか

答 川や用水路の危険性を実感できる学習を教育課程に位置付けることを検討している。川底が急に深くなるなどの川に潜む様々な危険を説明する動画を活用し、自分と周りの大切な人の命を守る学習を次年度以降実施することで調整している。

問 児童生徒、保護者、地域から危険箇所の情報を継続的に収集・共有する仕組みを充実できないか

答 市全域で統一的かつ継続的に情報を収集・共有する仕組みの充実が必要と認識している。好事例を調査し、検討を進める。



平野川（左）御笠川（右）の注意看板

市内の犯罪防止のため

映像はこちら



井福　大昌（いふく　だいすけ）

問 過去5年間の市内における刑法犯罪の認知件数の推移と再犯率は

答 令和3年は363件、令和4年は482件、令和5年は602件、令和6年は606件、令和7年は643件となっている。春日警察署管内における直近2年間の再犯率は、令和6年が約38%、令和7年が約45%である。

問 最優先でケアが必要となるのは、加害者ではなく被害者や、そのご家族である。市として、被害者に対してどのようなケアを行っているか

答 令和8年3月に大野城市犯罪被害者等支援条例を制定し、犯罪被害者等への支援施策を実施している。犯罪被害者等が必要とする情報の提供や関係機関等への紹介、経済的な負担を軽減するための見舞金の支給、住宅の確保に関する支援などを行っている。

問 保護司の活動に関わる庁内の関係部署は生活安全課や福祉サービス課など複数あるが、各課の連携状況は

答 複数の部署が連携して対応しており、現在策定を進めている再犯防止推進計画を福祉サービス課が所管する地域福祉計画の中に包含する。これにより、元受刑者の立ち直りを福祉の視点からも支えていく。

問 保護司が元受刑者と面談をする際などに使うサポートルームの整備は

答 現在は未整備であるが、保護司の安全と保護対象者のプライバシーを守るため、市庁舎内に事務や面談スペースを確保することなどについて検討をしている。



保護司の街頭啓発活動の様子

差別や排除をなくして多文化共生のまちへ

映像はこちら



松﨑　百合子（まつざき　ゆりこ）

問 外国籍住民の人数は

答 本年8月1日時点で1562人。在留資格別では、留学332人、永住者238人、特定技能と技能実習の合計が424人である。

問 外国籍住民への差別や偏見は

答 令和5年度の大野城市外国籍市民意識調査では、回答した128人のうち「肌や瞳の色、出身地域、文化などを理由に避けられたり侮辱されたりした」と回答した人が12人で9.2%、「外国人を差別するデモやスピーチで怖いと思うことがあった」と回答した人が11人で8.5%などという結果となった。自由記述には、いじめや産婦人科での健診、入院、出産拒否などを受けたことが記載されており、これらのことを真摯に受け止め、今後も差別の解消に向けた取組を推進していく。

問 日本語学習指導支援サポーターが抱える課題は

答 日本語の心情理解の指導方法や、担任教員との連携などに難しさを感じていると聞いている。

問 保護者も巻き込んだ、多文化交流や国際理解を推進しては

答 保護者の希望があれば自国の文化を紹介していただくなどの機会を創出することは可能ではないかと考える。

問 今後、多文化共生をどのように推進していくか

答 第2次大野城市国際化推進プランにおいて、外国人市民も安心して快適に暮らせる環境づくりなど、三つの基本目標を掲げ全庁的な体制で推進している。今後、本市の実情を的確に把握し、実効性のある多文化共生のまちづくりを進める。



大野城市男女共同参画啓発冊子（2023年度版）より

8月臨時会

令和8年8月臨時会を8月7日（金）に開催
3つの案件を審議し、全ての案件を可決、同意、承認しました。
審議結果の採決の模様は大野城市議会ホームページ「令和８年第４回８月臨時会」（右の二次元コード）から映像を見ることができます。

審議結果一覧

令和８年８月臨時会

議案番号	件　名	議決結果	付託委員会	議決月日
第58号議案	令和8年度大野城市一般会計補正予算（第3号）について	全会一致可決	予算委員会	R8.8.7
第59号議案	令和8年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	R8.8.7
報告第９号	専決処分の報告について（訪問指導員による物品損傷事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について）	報告	—	R8.8.7

8月臨時会　委員会レポート

エネルギー価格高騰対策支援を実施　予算委員会

第58号議案
令和8年度大野城市一般会計補正予算（第3号）について

LPガス料金高騰対策支援事業補助金のほか、他事業合計4586万2000円を追加するもの

問 市内のLPガス使用件数は
答 令和7年度は2万6767件である。

問 本市の補助金の設定根拠は
答 令和7年12月と令和8年4月の公表価格を比較し、一般家庭のLPガス料金の上昇額に3ヶ月分乗じた額として1000円とした。

問 補助の実施時期は
答 12月検針分のLPガス料金を減額する。



LPガスボンベ（イメージ図）

広報委員会行政視察

より多くの方に
読んでもらえる「議会だより」を
目指して頑張ります！





7月30日、広報誌作成調査研究のため、福津市議会へ視察に行きました。
編集作業に熱心に取り組まれている様子に刺激を受けました。
福津市議会の広報委員のみなさま、ありがとうございました。

今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会

委員会の経過

- **7月17日（第10回）**
  最終報告に向け、２班に分かれ具体的な課題の整理や提言内容を検討
- **8月7日（第11回）**
  他自治体の学校給食の取組事例等について執行部から報告を受け、課題と要望点を協議
- **9月4日（第12回）**
  全員制給食実施に向けた提言内容の検討のため課題を協議
- **9月14日（第13回）**
  全員制給食実施に向けた提言内容に対する委員の意見を取りまとめ
- **9月25日（第14回）**
  課題・要望点の取りまとめ及び最終報告の骨子を協議



第10回特別委員会
グループワークの様子



食缶方式の学校給食を試食

- **9月15日**

教育委員会が実施した「中学校給食の検討にかかる食缶方式給食の試食会」に参加しました。







試食会の給食メニュー

- 麦ごはん
- 栄養味噌汁
- ブリの醤油麹漬け
- 磯マヨネーズ和え
- 牛乳



これまでの特別委員会の会議の内容は大野城市議会ホームページ「特別委員会」（右の二次元コード）から確認することができます。





令和8年
7月28日

模擬議会



筑紫中央高校の24名の生徒のみなさんと模擬議会を実施しました。



意見交換

投票率、校則・スマホルール、
放課後の勉強スペース、
チャレンジショップなどをテーマに
意見交換をしました。















意見発表

意見交換で出された意見を
班ごとに発表しました。

議員さんの雰囲気や私たちへの接し方が温かかった。
うなずきながら私たちの話を聞いてくださったり、名前を
呼んで話しかけてくださっていた議員さんの優しさを
知って、だから大野城市は温かいんだと気づけました。
ぜひ他の子にもこの雰囲気を感じてほしいです。
また参加して新しい意見を議員や学校の人たちと
共有したいです。
ありがとうございました。

（アンケート回答内容より抜粋）





●発行／大野城市議会
●印刷／久野印刷株式会社

作品紹介

イラスト



（白木原　ミドリさん）



（大池　瀬里侑佳さん）



（つつじヶ丘　鈴山晶子さん）



短歌

○にしひがし天泣（てんきゅう）光る大野城3号線をふり分ける雨
○御笠川光る天泣（てんきゅう）川沿いを風に吹かれてしのぶ故郷（ふるさと）
○もしかして俺は天才あんなことこんなこと忘れて頭は空っぽだから
（乙金台　泉　滿夫さん）

○陽にやけし石に腹ばい暖をとり　日暮まで泳ぎし日なつかし
○庭石の窪みに溜る水にきて　目色は天を仰ぎ水呑む
○ファン付きベスト着たる作業者　四十度を超える溽暑（じょくしょ）の地に
（若草　高名　稔さん）

○硝子戸の　曇りをふいて　君を待つ　庭には紅（あか）の　紫陽花映る
（つつじケ丘　松野直美さん）

○若かき日の　胸ときめかせ　汽車の旅　想い出深かし　ぼけたアルバム
○お買い物　歩道を渡たる　イケメンと　荷物受けとり　笑顔で別かれ
（白木原　ミドリさん）

○月あかり　虫の音聞こえ　涼やかで　寝るには惜しく　文字読めそうだ
○柿の実が　へただけ残こし　全部落ち　動植物　熱波に負けそう
（乙金台　小野敬子さん）

川柳

○布袋尊　笑みて　孫との　夏旅や
○織姫の曲がった口のまま飾る
○新しき傘開くたび母遠く
（乙金東　中村直子さん）

○たき火見る　太古の自分に話しかけ
○電柱の影さえ求む猛暑日や
○同窓会間近でＬＩＮＥ踊り出す
（大城　山田弓子さん）

○あっそうか！命日だったね　元気だよ
○七千歩？いや一万歩　いい気分
○礼拝へ宗派ちがいも近い寺
（乙金台　泉　滿夫さん）

俳句

○永遠の平和を誓ふ原爆忌
○バケツに水準備子供の庭花火
○空襲を生き伸び今年も終戦日
（牛頸　西山光教さん）

○雨の日も歩いて今日の文化の日
○表彰へ推されかしこむ草の花
○まどかなる秋の夕日にありがとう
（乙金台　泉　滿夫さん）

○儚さよ　線香花火　秋ま近か
○床に臥せ　燃ゆる命に　蝉の声
○酔いしれて　風鈴の音と　昼下り
（つつじケ丘　松野直美さん）

作品掲載希望者募集

みなさんからいただいた作品をそのまま紹介します。
今回は7月～9月に募集した作品です。

●募集作品
・俳句　・川柳　・短歌　・写真　・イラスト など

●応募方法　住所、氏名、電話番号を記入して、議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ　〒816−8510 大野城市曙町二丁目2番1号
TEL. 580−1938

●注意事項
・未発表のものに限ります（新カナ、旧カナは問いません。）
・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
・提出された作品は、返却しません。
・ペンネームでも可とします。
・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。あらかじめご了承ください。



応募締切
2月15日号
掲載は
12月26日
まで

小・中学生からの応募もお待ちしております

あんてな

今年の夏は本当に暑かったですね。猛暑日も続き、倒れてしまいそうな毎日でした。しかし十一月に入り、すっかり秋らしくなり、そろそろ紅葉狩りの季節ではありませんか？

美しい紅葉は、日当たりが良く、適度な湿気もあり、昼と夜の寒暖差が大きく急激に進むと美しく彩づきます。そもそも、なぜ「紅葉狩り」と言うのでしょう？

平安時代の貴族は、牛車などで移動するのが基本でした。しかし、山に入って紅葉を見るには歩く必要があり、そこで、「獣を狩る」かのように山野へ足を踏み入れる見立てとして「狩り」と表現するようになったのが由来とされています。

秋が深まるこの季節、日本ならではの美しさを五感で楽しめる『紅葉狩り』に出かけてみませんか？

（河村　康之）

発行責任者：議長　平井信太郎
編集：広報委員会

広報委員会

委員長	之一
副委員長	朗
委員	也
委員	一
委員	子
委員	生
委員	康
委員	慎
委員	和
委員	真
委員	恭
委員	敏
委員長	村村
委員	村
委員	村
委員	利
委員	野
委員長	河
委員	中
委員	森
委員	中
委員	永
委員	河